

地質ニュース

特集 NO. 9 1956-8

地質調査所

東京で開かれた

第2回 ECAFE 地域の地質図作成会議 および 鉱産資源開発小委員会会議

この両会議の第1回は1954年11月、タイ国バンコック市で開催されたが、それについては地質ニュース No. 13 (1955-1) に報じたところである。今回第2回目の会議が本年6月5日から17日までの13日間わたって、東京の産経会館ホールで催された。

この二つの会議は1953年4月に東京で開かれた鉱産資源開発地域会議の際に、その必要性が認められたもので、究極的には鉱産資源及び土地の開発利用につながるものであるが、ECAFE 地域の地質図作成会議の目的は、同地域の縮尺 500 万分の1 総合地質図を作成するためのものであり、また鉱産資源開発小委員会会議の目的は 1954~1955 年における ECAFE 地域の貿易事情および鉱産資源開発事業の展望、燃料事情、石炭の規格に関する問題についての報告、討議にあった。

今回の ECAFE 地域の地質図作成会議には13カ国代

表約 45 名が参加して行われた。その参加国名、参加人員および議事項目は次の通りである。

委員会のメンバー

参加国名	人員
1. ビルマ	1
2. 国 府 (china)	3
3. フランス	3
4. インド	4
5. 日 本	10
6. 韓 国	2
7. オランダ	1
8. タ イ	2
9. ソ 連	4
10. アメリカ	6

ECAFE 関係国

11. ホンコン	1
12. マレーおよび英領ボルネオ	1

政府機関に属さないもの

世界共和連邦 (World Federation of United Nations Associations)	2
ECAFE 事務局員	5



ECAFE 会議場 (東京産経会館)

わが国からは代表として兼子地質調査所長、代表代理として河野地質部長、外に随員として小林 貞一・久野 久両教授、安芸 皎一博士、西脇 親雄氏、金原燃料部長、斉藤・平山両課長が参加した。